

総武支部・活動方針（案）

総武支部長 広川 毅

《活動目標》

1. 支部で、学習・研修会の場の企画づくりを

聴覚障害者の暮らしや社会参加を守り、向上させるためにも支部の各地域協会との連携強化を図り、支部役員と各地域協会に呼びかけて、「モデル要綱」など手話通訳制度の学習会を設けるものとする。

2. モデル要綱について地域協会と共に取り組んでいこう

意志疎通支援事業の派遣「モデル要綱」に沿った手話通訳制度を各市町村行政において浸透し、各市域の格差をなくすよう、地域協会と学習会を開き、行政との交渉を進めるよう働きかけていきたい。

3. 傘下6市協会で力を合わせて、男女、老若を問わず、多くの参加者が集まる企画を立て、入会拡大に取り組む。

任意学習会や交流会は、誰でも気軽に参加できるような企画を設けて、一般会員とのコミュニケーションや情報を共有しつつ、県や全日本ろうあ連盟の運動に関心を持ってもらうように取り組む。
平成24年度の最高の会員数（163名）と比べると、総武支部（124名）では、会員率が76%となっている。

しかし、100%以上を保っている協会が支部内1つあることは褒めたい。

また、全日本ろうあ連盟の課されているノルマは身体障害者手帳所有の10%を基準としているので（支部で272人）、各市協会イベントに参加し説明する活動により、これまでの会員を維持しながら、更なる会員拡大を図りたい

4. (社福)千葉県聴覚障害者協会の行事や研修などに、支部内の地域協会からより多くの参加を呼びかけ、組織力の強化を図る。

支部役員会では、地域協会へのPRなどを通して、相互の連絡を密にし、当支部の結集力を高める。

5. 「千葉県ろう重複障害者施設をつくる会」総武ブロックの構成員として千葉県におけるろう重複障害者等の社会資源整備の取り組みを図っていく。

「らいおんコミュニティ長期計画」で平成27～31年度(5ヶ年計画)の間に総武ブロックの地域内に作業所設置をめざし、資金造成(街頭カンパへの積極的参加など)などに取り組んでいく。

6. 第38回関東ろう者大会の運営に協力し、成功させよう。

10月3～4日、館山市で「第38回関東ろう者大会」が開催されます。支部は地域連携を強化し、大会運営を成功させよう。

《事業計画》

評議員会(4月18日)〈場所未定〉

※評議員会の前後のいずれかの時間に、地域協会の果たすべき役割について等「義務学習会」を組み入れたい。

交流会(※支部内外の各地域協会の交流)

第33回東葛地区ろうあ者ソフトボール大会 (6月下旬か7月上旬)
〈船橋市案〉

任意学習会(8月かH27年2月のどれか)〈場所未定〉

※ろうロールモデルの講演会

※義務研修会 〈評議員会の時に〉

※とくに障害者総合支援法が県協会の運営する社会資源(特定指定相談支援事業、介護事業、地域活動支援センター、就労継続支援B型、情報提供施設)についてをテーマとして考えていきたい。

※奇数月(最終月曜日/夜) 支部役員会(予定)

役員会で、地域協会の情報交換、県協会の行事への参加をすすめていく。